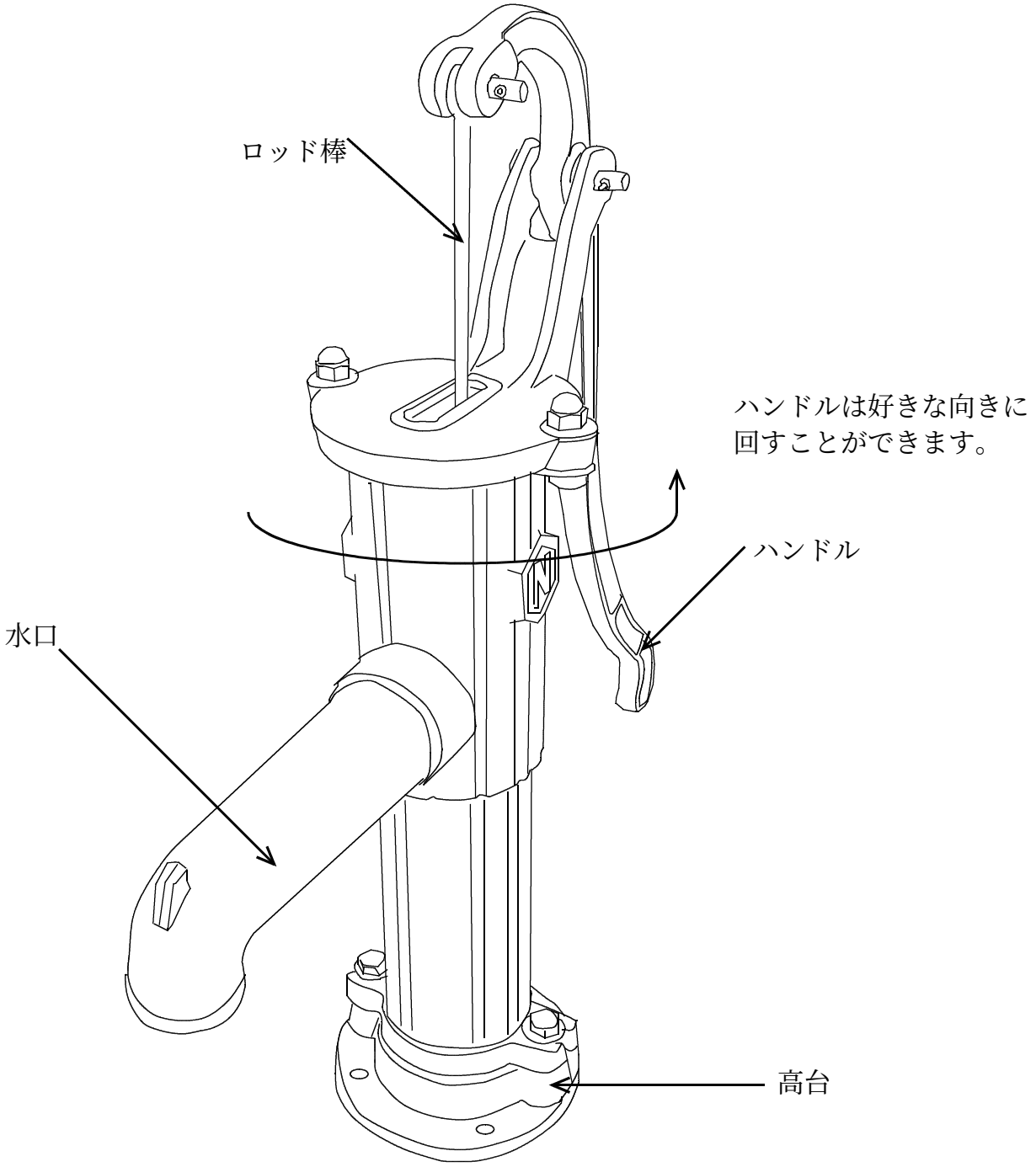
ノートルダム　取り扱い説明書



１．製品について

製品名：ノートルダム号

材質
本体：鉄鋳造品
ピストン　鉄製、皮

適用範囲：
浅井戸、雨水タンク用
吸い上げ能力：ポンプ根元より水面までの距離が７ｍまで

製造国：中国

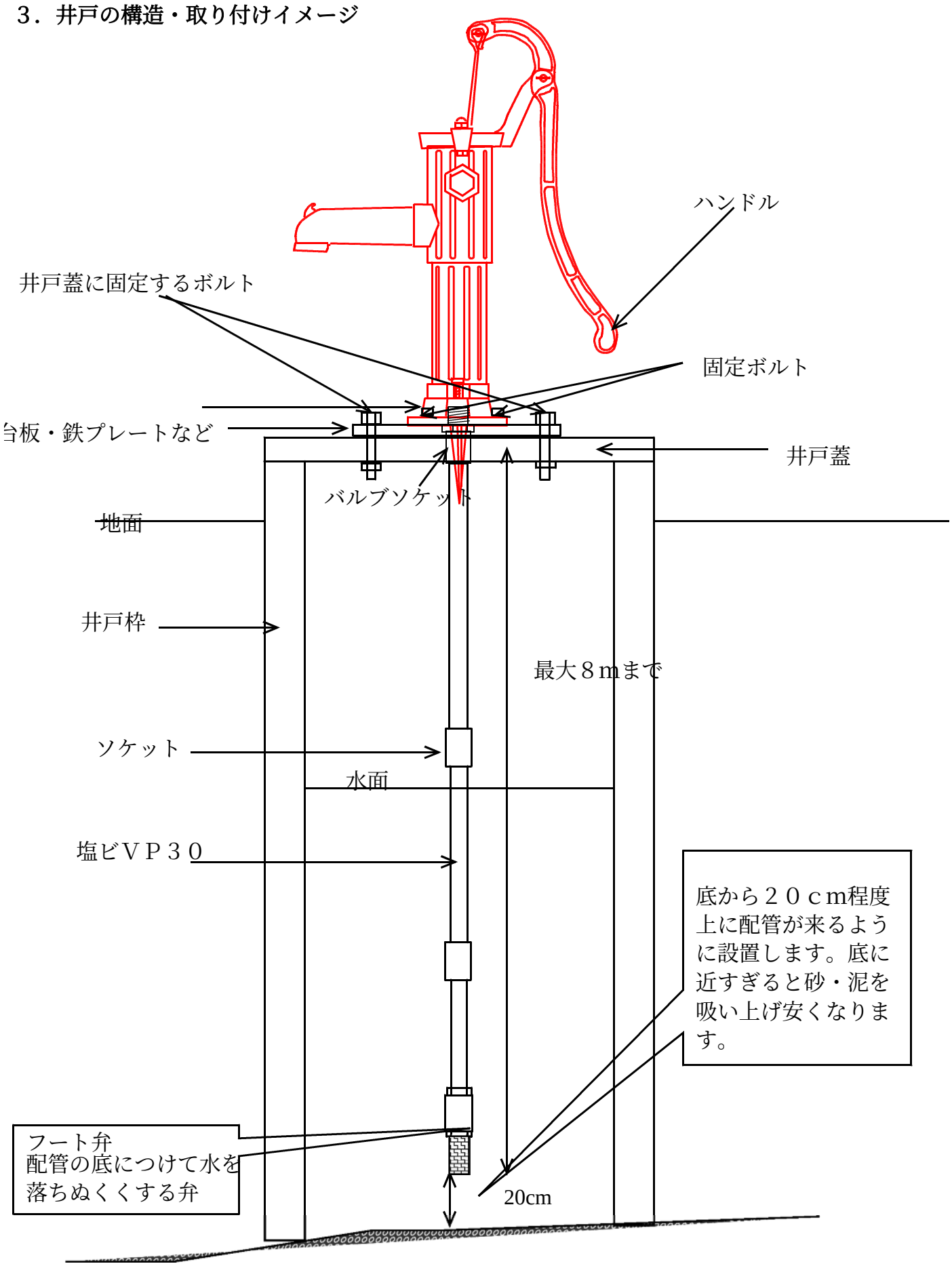
使用配管：
配管サイズ　３２Ａ（１　１／２”、塩ビ管ＶＰ３０）

２．ご利用上の注意

〇内部のピストンは皮（ワン皮）を使用しているため、使用開始直後は膨張のためピストンが固くなることがあります。
〇力任せにハンドルを押すとハンドルが折れるなどの可能性があります。ご利用にあたっては、ゆっくりと力を載せながら押す必要があります。
〇ハンドルの支点付近はテコの原理で大きな力が加わります。指を挟むと大けがをする恐れがあります。絶対に手をいれないようにしてください。
〇地下水が７m付近になりますとハンドルは重くなります。
〇フート弁をつけない場合、使用前に呼び水をする必要があります。

使用中に赤い円内に手を絶対に
いれてはいけません。
怪我をします。

３．井戸の構造・取り付けイメージ



当社で施工する場合、８ｍパイプを用意し、２ｍ単位でつないでいき、井戸底についたら２０ｃｍほど持ち上げてポンプにつないでいます。

取り付けに必要な道具

〇ドリル（台板等に穴をあけるもの直径１０ミリ以上）

〇ボルト及びナット(台板の厚みに１６mm以上加えたもの）　サイズはＭ６ーＭ１０　４本セット

〇スパナ（サイズ１７）

〇塩ビ管ＶＰ３０（ＶＵ３０ではないので注意！）

〇塩ビ管用接着剤（必ず塩ビ管用をご使用ください。）

〇塩ビ管ソケット　２mに１個程度使用します。設置深さを調整する場合があるので多めに用意しておくとよいです。

〇プラスチック用ノコギリ

〇呼び水（1リットル程度、ペットボトル、バケツに用意しておく）

〇落下防止金具（配管が施工途中に落下しないように、はさみこんでおくもの、あれば一人でも施工しやすい。）

〇ヒモなど（井戸の深さを計測する時に使用）

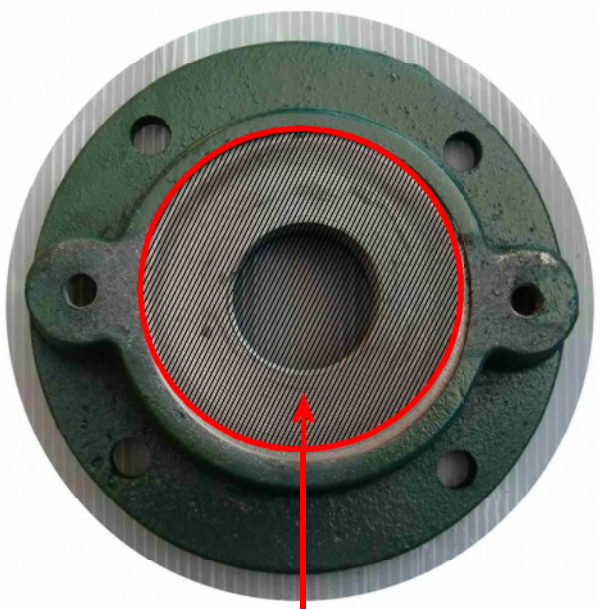
〇作業用手袋

４．ポンプを高台で分離させます。

サイズ１７のスパナで左廻しにすると高台より上側を外すことができます。

弁

パッキン



錆びを落として平らにします。
（メンテナンス時）

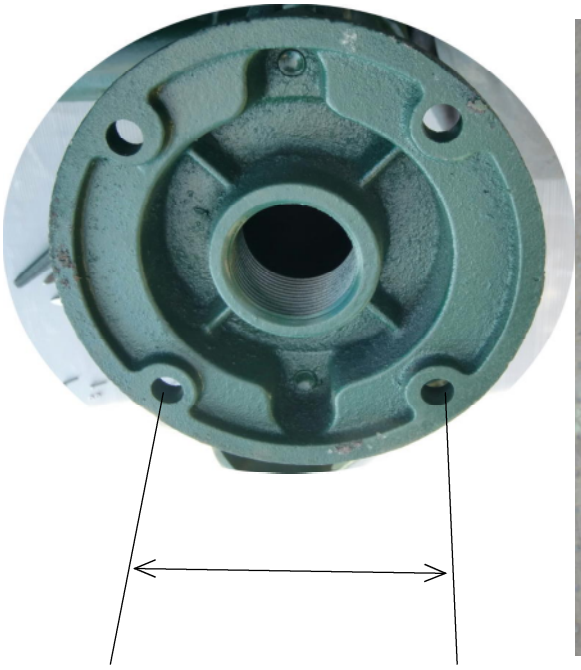
定期的にポンプを外して、内部に出来た錆びを落とすことをお勧めします。

５．接続配管の用意

ポンプ下部にメスネジ（３２Ａ、Ｇ１　１／２）が切ってあります。
そこにバルブソケット等をネジ込み塩ビ管ＶＰ３０を接続していきます。

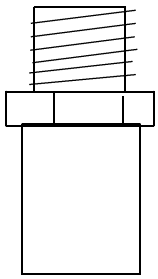
６　固定用穴

４カ所、固定用穴が開いています。そこから台板、井戸蓋等に固定してください。配管を通す穴は塩ビ管を通す穴は７ｃｍ程度開けてください。



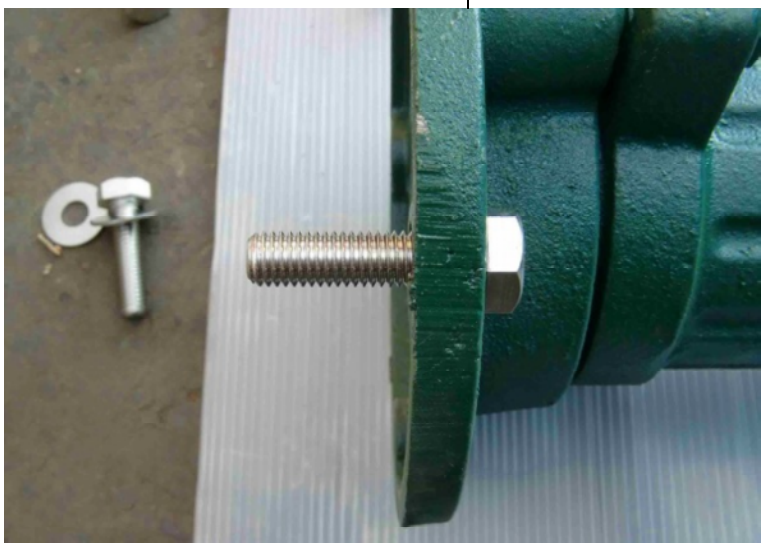
穴ピッチ　９４ミリ
穴直径　１１ミリ
使用するボルトのサイズ・Ｍ１０、Ｍ８程度

Ｇ１１／２
塩ビ管　ＶＰ３０
シールテープを巻いてバルブソケットをネジ込みます。バルブソケットにはネジ込み部が真鍮製の物もありますが、通常は安い塩ビで大丈夫です。



バルブソケット

１１．５ミリ

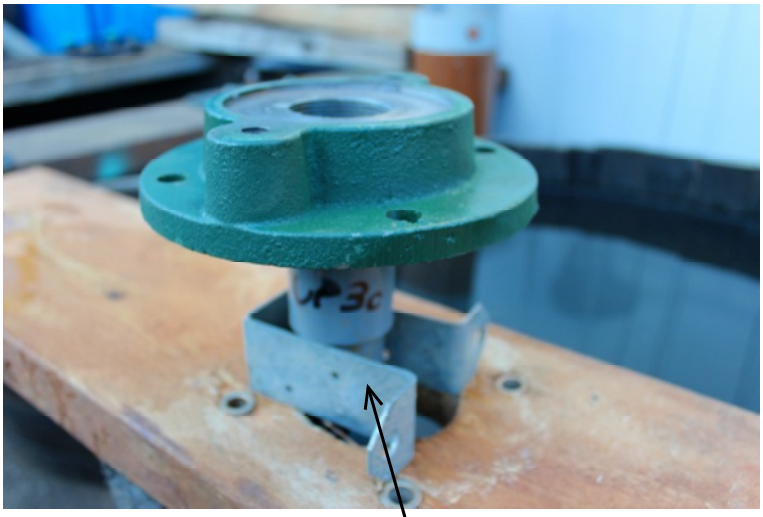


必要なボルトの長さ
貫通したい井戸蓋・台板の厚み＋11.5ミリ＋15ミリ程度（ボルト,ワッシャーの厚み）

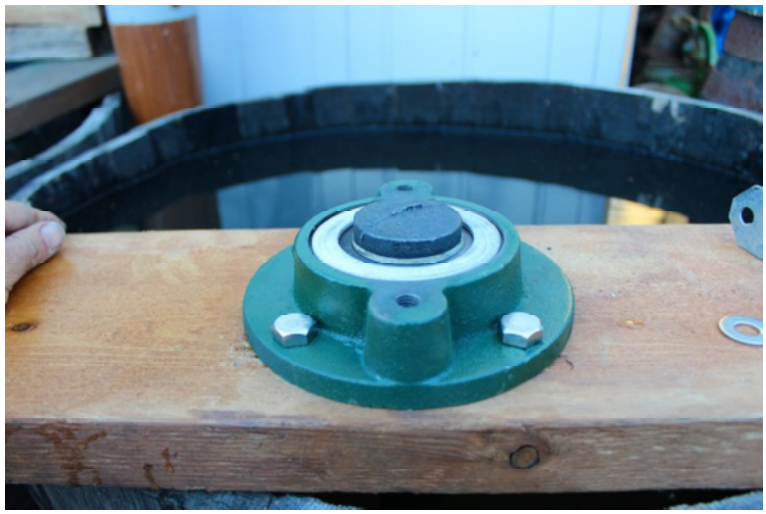
材質はステンレス製が望ましいです。

７．配管作業

塩ビ管を接着しながら井戸に配管を落としていきます。
最後に高台を取り付けます。
塩ビ管接着材は、配管、ソケット両方に塗ります。ぐっと差し込んで、２０秒ぐらい押さえます



落下防止金具
ソケットではさみ込める物ががあると、配管作業が楽になります。



８．ピストン、ハンドルの取り外し方法

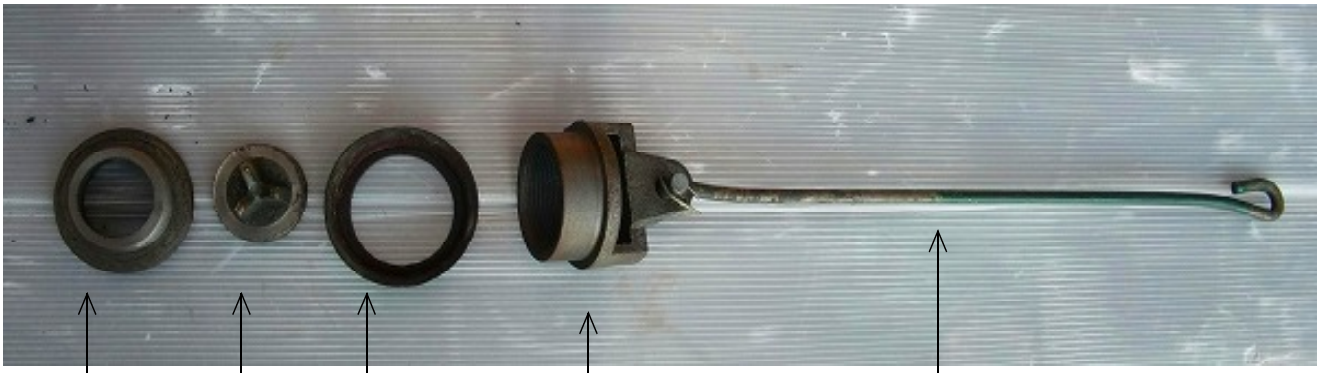
差次図Ｍ３のボルト・ナットで
固定されています。
六角レンチ（2.5ミリ）、スパ
ナーを使って外します。

９．蓋の取り外し

袋ナットを外します。
サイズ１７のスパナを
使用します。

次の下側のボルトを外します。

１０．ピストン部の分解（半年に１度は分解して錆びを落とすことをおすすめします。）



ワン皮はご利用に伴い、すりへります、将来、交換が必要になります。

ピストン下部のネジ込み部が外れれば、ワン皮だけの交換ですみますが、錆びが進行すると外れなくなります。この場合、ピストン部全体の交換となります。

ロッド棒の錆びの進行にもご注意ください。